

# 本場食品衛生検査所

# 理化学検査情報

Vol.44 2016 No.4  
平成 29 年 1 月発行



今号の内容 平成 28 年 7 月～平成 28 年 9 月までに検査した

残留農薬検査結果

放射性物質検査結果

総水銀検査結果

貝毒検査結果

抗菌性物質検査結果

横浜市健康福祉局中央卸売市場本場食品衛生検査所  
TEL 045-441-1153

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/kensajo/>



## 1 残留農薬検査

平成 28 年 7 月から 9 月までの残留農薬検査は、国産農産物 43 検体（22 種）、輸入農産物 6 検体（4 種）合わせて 49 検体（26 種）について実施しました。このうち農薬を検出した検体数は、国産農産物 9 検体（18 農薬）、輸入農産物 4 検体（11 農薬）でしたが、残留基準値を超えた検体はありませんでした。

### 農産物別検体数

品名	検体数	検出検体数
1 オクラ	1	
2 カボチャ	1	
3 キャベツ	3	1
4 キュウリ	6	2
5 グレープフルーツ	3	3
6 サクランボ	1	1
7 サツマイモ	2	
8 シシトウ	1	
9 ジャガイモ	2	
10 スイカ	1	
11 ダイコン	1	
12 タマネギ	1	
13 トウガン	3	

品名	検体数	検出検体数
14 トマト	4	1
15 ナシ	3	2
16 ナス	5	1
17 ニンジン	1	
18 ネギ	1	
19 パイナップル	1	
20 パナナ	1	
21 ブドウ	2	
22 ホウレンソウ	1	
23 メロン	1	1
24 モモ	1	
25 レタス	1	
26 レモン	1	1
計	49	13

### 国産農産物 生産地別検体数

生産地	検体数	検出検体数
1 横浜市	8	1
2 山形県	5	1
3 神奈川県	5	
4 千葉県	4	1
5 北海道	3	
6 岩手県	3	3
7 山梨県	3	
8 茨城県	2	1

生産地	検体数	検出検体数
9 栃木県	2	
10 長野県	2	
11 青森県	1	1
12 福島県	1	1
13 群馬県	1	
14 愛知県	1	
15 兵庫県	1	
16 香川県	1	
計	43	9

輸入農産物 国別

生産地	検体数	検出検体数
1 南アフリカ共和国	3	3
2 台湾	1	
3 チリ	1	1
4 メキシコ	1	
計	6	4

国産農産物検査結果

品名	産地	収去日	収去部署	検出農薬（基準値） ppm
1 サクランボ	山形県	7/7	本場市場	ビフェントリン 0.05 (2 以下) テブコナゾール 0.36 (5 以下) クロチアニジン 0.06 (5 以下) チアマトキサム 0.44 (5 以下) フェンヘキサミド 1.72 (10 以下) フェンブコナゾール 0.15 (1 以下)
2 メロン	千葉県	7/7	南部跡地	イミダクロプリド 0.01 (0.4 以下)
3 モモ	山梨県	7/7	南部跡地	不検出
4 トマト	山形県	7/7	南部跡地	不検出
5 キュウリ	山形県	7/7	南部跡地	不検出
6 オクラ	香川県	7/25	本場市場	不検出
7 スイカ	千葉県	7/25	本場市場	不検出
8 トウガン	愛知県	7/25	本場市場	不検出
9 ナス	栃木県	7/25	本場市場	不検出
10 レタス	長野県	7/25	本場市場	不検出
11 キュウリ	岩手県	7/25	本場市場	クロルフェナピル 0.03 (0.5 以下)
12 トマト	神奈川県	8/10	南部跡地	不検出
13 キュウリ	神奈川県	8/10	南部跡地	不検出
14 ナス	神奈川県	8/10	南部跡地	不検出
15 トウガン	神奈川県	8/10	南部跡地	不検出
16 ジャガイモ	北海道	8/10	南部跡地	不検出
17 ナシ	栃木県	8/22	港北区	不検出
18 キャベツ	群馬県	8/22	港北区	不検出
19 キュウリ	横浜市	8/22	瀬谷区	不検出
20 ナス	横浜市	8/22	瀬谷区	不検出
21 ジャガイモ	横浜市	8/22	瀬谷区	不検出
22 ダイコン	北海道	8/22	瀬谷区	不検出
23 キャベツ	岩手県	8/22	瀬谷区	チアマトキサム 0.01 (5 以下)
24 ナシ	茨城県	8/29	本場市場	クレソキシムメチル 0.03 (5 以下) クロルフェナピル 0.02 (1 以下) シラフルオフエン 0.01 (1 以下) ボスカリド 0.01 (3 以下)
25 ブドウ	山梨県	9/5	本場市場	不検出
26 タマネギ (アーリーレッド)	兵庫県	9/5	本場市場	不検出
27 キュウリ	岩手県	9/5	本場市場	アゾキシストロビン 0.02 (1 以下)
28 ナス	神奈川県	9/5	本場市場	不検出
29 サツマイモ	千葉県	9/5	本場市場	不検出
30 キャベツ	長野県	9/5	本場市場	不検出
31 ナシ	福島県	9/5	本場市場	クレソキシムメチル 0.01 (5 以下)
32 ニンジン	北海道	9/12	鶴見区	不検出
33 トマト	青森県	9/12	鶴見区	アゾキシストロビン 0.02 (3 以下)
34 ナス	横浜市	9/12	磯子区	アゾキシストロビン 0.02 (3 以下) チアマトキサム 0.03 (0.7 以下)

品名	産地	収去日	収去部署	検出農薬（基準値） ppm
35 キュウリ	横浜市	9/12	磯子区	不検出
36 トウガン	横浜市	9/12	磯子区	不検出
37 カボチャ	横浜市	9/12	磯子区	不検出
38 サツマイモ	横浜市	9/12	磯子区	不検出
39 シシトウ	山形県	9/20	南部跡地	不検出
40 ホウレンソウ	茨城県	9/20	南部跡地	不検出
41 ブドウ	山梨県	9/20	南部跡地	不検出
42 ネギ	山形県	9/20	南部跡地	不検出
43 トマト	千葉県	9/20	南部跡地	不検出

#### 輸入農産物検査結果

品名	産地	収去日	収去部署	検出農薬（基準値） ppm
1 パイナップル	台湾	7/15	本場市場	不検出
2 バナナ	メキシコ	7/20	本場市場	不検出
3 レモン	チリ	8/29	本場市場	クロルピリホス 0.04（1以下） フルジオキシニル 1.4（10以下） イマザリル(残農として) 1.07（5.0以下） チアベンダゾール(残農として) 0.14（10以下）
4 グレープフルーツ	南アフリカ共和国	8/29	本場市場	クロルピリホス 0.02(1以下) 1以下 イマザリル(残農として) 0.41（5.0以下）
5 グレープフルーツ	南アフリカ共和国	8/29	本場市場	クロルピリホス 0.01（1以下） イマザリル(残農として) 2.1（5.0以下）
6 グレープフルーツ	南アフリカ共和国	8/29	本場市場	トリフロキシストロビン 0.03（0.5以下） イマザリル(残農として) 2.46（5.0以下） チアベンダゾール(残農として) 0.82（10以下）

#### 検出した農薬について

農薬名	種類	特徴
1 アゾキシストロビン	ストロビルリン系殺菌剤	病原菌の増殖に共通なエネルギー合成を阻害し、作物の主要な病害に対して高い効果を示します。糸状菌(べん毛菌類、担子菌類、子のう菌類、不完全菌類)に高い効果を示します。
2 イマザリル(残農として)	イミダゾール系殺菌剤	農薬(殺菌剤)、あるいは動物用抗真菌薬として用いられます。また食品添加物(みかん以外のかんきつ類・バナナ用防かび剤)として扱われています。浸透性があり、貯蔵中の腐敗防止のために、かんきつ類にはイマザリルを添加したワックス処理液に浸漬して使用されます。
3 イミダクロプリド	クロロニコチル系殺虫剤	1985年にバイエルクロップサイエンス株式会社により開発されたクロロニコチル系殺虫剤であり、作用機構はニコチン性アセチルコリン受容体に対するアゴニスト作用です。
4 クレソキシムメチル	ストロビルリン系殺菌剤	各種作物のうどんこ病菌に優れた効果を示しますが、ねぎのさび病菌など他の重要な病害にも幅広い活性が認められています。きのこ由来の有効成分で植物病原菌の細胞内のミトコンドリアに作用しエネルギーとなるATP合成を阻害し、結果的に病原菌を死滅させる殺菌剤でかんきつ類のそうか病、黒点病などに効果があります。
5 クロチアニジン	ネオニコチノイド系殺虫剤	作用機構は昆虫中枢神経系のニコチン性アセチルコリン受容体に対するアゴニスト作用です。クロチアニジンはクロチアニジンという農薬でもあり、チアメトキサムの代謝物でもあります。そして、基準値にはチアメトキサム由来のクロチアニジン残留を含むとなっています。

農薬名	種類	特徴
6 クロルピリホス	有機りん系殺虫剤	補助剤あるいは他の殺虫剤と混ぜて、水和剤、乳剤などのさまざまな形に製剤化され、広く用いられています。本物質はハマキムシ類、アメリカシロヒトリ、シバオサゾウムシなどに効果があり、リンゴ、ミカン、カキ、ナシ、茶、芝生、樹木などに用いられている。なお、製造・使用が禁止されたクロルデンに代わるシロアリ駆除剤として使われ、住宅では土台や柱などの木の部分に吹き付けたり、床下に散布するという方法で用いられてきましたが、シックハウス症候群の原因物質の一つと疑われ、2002年7月の建築基準法の改正によって、本物質を添加した建材の使用は禁止されました。
7 クロルフェナピル	ピロール系殺虫剤	1998年にアメリカンサイアナミッド社(現BASF社)により開発されたピロール環を有する殺虫剤(殺ダニ剤)です。ミトコンドリアにおける酸化リン酸化反応のうち、リン酸化のみを阻害し、酸化リン酸化を共役阻害することによって殺虫作用を示すと推察されています。コナガ・ミナキイロアザミウマ・ナミハダニ・カンザワハダニなどの、難防除害虫に対して高い防除効果を示しますコテツという商品名で販売されています。
8 シラフルオフェン	ピレスロイド系殺虫剤	1984年に日本(大日本除虫菊株式会社)で、1985年にドイツ(ヘキスト、現バイエルクロップサイエンス社)でそれぞれ独自に開発されたケイ素原子を有するピレスロイド系殺虫剤であり、昆虫の神経膜のナトリウムイオン透過性を変化させ、最終的に神経線維の興奮伝導を抑制することにより作用します。
9 チアヘンダゾール (残農として)	ヘテロサイクリック系殺菌剤 (添加物としては防かび剤)	米国メルク社によって開発されたヘテロサイクリック系殺菌剤であり、細胞内のチューブリンに結合し、有糸分裂を阻害することにより作用すると考えられています。
10 チアメトキサム	ネオニコチノイド系殺虫剤	作用部位は昆虫中枢神経系のニコチン性アセチルコリン受容体です。アブラムシ類、コナジラミ類、スリップス類などの吸汁性害虫のみならず、ハモグリバエ類およびコナガ等の鱗翅目に対する効果を含め幅広い殺虫活性を持っており、広い範囲の初期害虫の予防防除が可能です。
11 テブコナゾール	トリアゾール系殺菌剤	種々の糸状菌においてステロールの生合成を阻害して、菌糸の発育を阻害します。
12 トリフロキシストロビン	ストロビルリン系殺菌剤	病原菌に対しミトコンドリアの電子伝達系を阻害することにより、孢子発芽防止、孢子発芽以降の宿主への侵入阻止などの作用を示します。
13 ビフェントリン	ピレスロイド系の殺虫剤	1977年に米国FMC社により開発されたピレスロイド系の殺虫剤です。昆虫の神経軸索の神経膜に作用し、ナトリウムチャネルの働きを乱し、神経刺激の軸索伝導を阻害し、昆虫を死に至らしめます。
14 フェンブコナゾール	トリアゾール系殺菌剤	1978年に米国ローム・アンド・ハース社により開発されたトリアゾール系殺菌剤であり、作用機構は菌類の細胞膜を構成する主要成分であるエルゴステロールの生合成阻害です。海外では、米国、西ヨーロッパ諸国を始めとする多くの国で登録されています。日本では2001年4月26日に初めて農薬登録されています。
15 フェンヘキサミド	ヒドロキシアニリド系殺菌剤	1989年に開発されたヒドロキシアニリド系の殺菌剤です。灰色かび病菌等の発芽管伸長を抑制することあるいは菌糸伸長を阻害することにより植物体への感染を阻害するものと考えられています。灰色かび病、灰星病、うどん粉病などに使われます。

農薬名	種類	特徴
16 フルジオキシニル	殺菌剤(添加物としては防かび剤)	1984年にスイス国チバガイギー社(現シンジェンタ社)が合成したフェニルピロール系の非浸透移行性殺菌剤です。本剤は、糸状菌の原形質膜に作用することにより物質の透過性に影響を及ぼし、アミノ酸やグルコースの細胞内取り込みを阻害して、抗菌作用を示すことが示唆されています。我が国では1996年に農薬登録され、水稲及び野菜類の種子消毒剤ならびに各種野菜類への茎葉処理剤として使用されています。
17 ボスカリド	アニリド系殺菌剤	アニリド系化合物の殺菌剤であり、1992年、ドイツのBASF社により発見されました。ミトコンドリア内膜のコハク酸脱水素酵素系複合体の電子伝達を阻害することで灰色かび病、菌核病に効果があります。我が国では2005年1月になす、きゅうり、りんご及びびなし等を対象に初めて登録されました。

## 2 放射性物質検査

平成28年7月から9月までの放射能検査は、水産物45検体、農産物11検体、福祉保健センターからの依頼検査15検体、合計71検体について実施しましたが、放射性物質を検出した検体数はありませんでした。

### (1) 水産物

#### 産地別検体数

産地	検体数
1 宮城県	14
2 青森県	10
3 神奈川県	7
4 千葉県	6

産地	検体数
5 岩手県	4
6 北海道	3
7 茨城県	1
計	45

#### 魚種別検体数

魚種	検体数
1 アカガレイ	1
2 アナゴ	1
3 カツオ	8
4 キハダマグロ(ロイン)	1
5 ゴマサバ	1
6 サケ(フィレ)	2
7 サワラ	3
8 スケソウダラ	1
9 スズキ	1
10 チダイ	1
11 パバガレイ(ナメタガレイ)	1
12 ヒラソウダ(ソウダカツオ)	1
13 ヒラメ	2

魚種	検体数
14 ブリ	1
15 ブリ(イナダ)	1
16 ブリ(ワラサ)	3
17 マアジ	3
18 マイワシ	1
19 マガレイ	1
20 マゴチ	1
21 マサバ	2
22 マダイ(タイ)	1
23 マダラ(フィレ)	1
24 ミズダコ(ムキタコ)	2
25 メカジキ(フィレ)	4
計	45

水産物検査結果

検体名	産地		収去日	結果(Bq/kg)		
	都道府県	漁獲水域		セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
1 アカガレイ	北海道	北海道青森沖	8/9	<0.633	<0.741	検出限界未満
2 アナゴ	宮城県	宮城県沖	9/21	<0.597	<0.728	検出限界未満
3 カツオ	宮城県	三陸南部沖	7/15	<0.764	<0.977	検出限界未満
4 カツオ	千葉県	千葉県沖	7/22	<0.694	<0.822	検出限界未満
5 カツオ	千葉県	千葉県沖	8/4	<0.812	<0.75	検出限界未満
6 カツオ	宮城県	三陸南部沖	8/9	<0.672	<0.698	検出限界未満
7 カツオ	宮城県	宮城県沖	8/12	<0.723	<0.769	検出限界未満
8 カツオ	宮城県	三陸南部沖	8/26	<0.706	<0.807	検出限界未満
9 カツオ	宮城県	宮城県沖	9/13	<0.771	<0.729	検出限界未満
10 カツオ	宮城県	宮城県沖	9/21	<0.794	<0.716	検出限界未満
11 キハダマグロ(ロイン)	千葉県	千葉県沖	8/9	<0.802	<0.777	検出限界未満
12 ゴマサバ	青森県	青森県沖	9/30	<0.647	<0.706	検出限界未満
13 サケ(フィレ)	青森県	青森県沖	9/13	<0.752	<0.954	検出限界未満
14 サケ(フィレ)	青森県	青森県沖	9/30	<0.807	<0.898	検出限界未満
15 サワラ	神奈川県	神奈川県沖	7/28	<0.868	<1.09	検出限界未満
16 サワラ	岩手県	三陸北部沖	9/2	<0.966	<0.843	検出限界未満
17 サワラ(サゴシ)	岩手県	三陸北部沖	7/15	<0.639	<0.919	検出限界未満
18 スケソウダラ	青森県	青森県沖	9/30	<0.72	<0.801	検出限界未満
19 スズキ	神奈川県	神奈川県沖	7/15	<0.724	<0.842	検出限界未満
20 チダイ	宮城県	宮城県沖	7/22	<0.742	<0.916	検出限界未満
21 ババガレイ (ナメタガレイ)	千葉県	千葉県沖	7/8	<0.598	<0.922	検出限界未満
22 ヒラソウダ (ソウダカツオ)	神奈川県	神奈川県沖	8/26	<0.749	<0.786	検出限界未満
23 ヒラメ	青森県	青森県沖	9/13	<0.507	<0.834	検出限界未満
24 ヒラメ(ソゲ)	青森県	青森県沖	9/30	<0.846	<0.892	検出限界未満
25 ブリ	北海道	北海道沖	9/21	<0.652	<0.832	検出限界未満
26 ブリ(イナダ)	宮城県	三陸南部沖	8/26	<0.737	<1.01	検出限界未満
27 ブリ(ワラサ)	神奈川県	神奈川県沖	7/15	<0.739	<0.978	検出限界未満
28 ブリ(ワラサ)	神奈川県	神奈川県沖	7/28	<0.739	<0.823	検出限界未満
29 ブリ(ワラサ)	岩手県	岩手県沖	8/12	<0.894	<0.769	検出限界未満
30 マアジ	千葉県	千葉県沖	7/28	<0.717	<0.926	検出限界未満
31 マアジ	神奈川県	神奈川県沖	8/26	<0.78	<0.875	検出限界未満
32 マアジ	茨城県	日立・鹿島沖	9/2	<0.835	<1.02	検出限界未満
33 マイワシ	北海道	根室沖	7/22	<0.662	<0.851	検出限界未満
34 マガレイ	宮城県	宮城県沖	8/12	<0.532	<0.761	検出限界未満
35 マゴチ	千葉県	千葉県沖	7/8	<0.761	<0.811	検出限界未満
36 マサバ	神奈川県	神奈川県沖	7/28	<0.616	<0.892	検出限界未満
37 マサバ	青森県	青森県沖	9/13	<0.669	<0.956	検出限界未満
38 マダイ(タイ)	青森県	青森県沖	8/4	<0.652	<0.784	検出限界未満
39 マダラ(フィレ)	岩手県	三陸北部沖	9/21	<0.596	<0.833	検出限界未満
40 ミズダコ(ムキタコ)	青森県	青森県沖	7/22	<0.852	<0.757	検出限界未満
41 ミズダコ(ムキタコ)	青森県	青森県沖	8/4	<0.864	<0.803	検出限界未満
42 メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	7/8	<0.731	<0.877	検出限界未満
43 メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	8/4	<0.873	<0.862	検出限界未満
44 メカジキ(フィレ)	宮城県	気仙沼沖	8/9	<0.708	<0.809	検出限界未満
45 メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	9/2	<0.686	<0.648	検出限界未満



(2) 農産物

産地別検体数

	産地	検体数
1	福島県	5
2	岩手県	2
3	山形県	2
4	茨城県	1
5	神奈川県	1
	計	11

農産物検査結果

検体名	産地	収去日	結果(Bq/kg)		
			セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
1 アンデスメロン	山形県	7/1	<0.886	<0.695	検出限界未満
2 キャベツ	岩手県	8/19	<0.714	<0.771	検出限界未満
3 キュウリ	福島県	7/1	<0.707	<0.714	検出限界未満
4 キュウリ	岩手県	8/19	<0.720	<0.851	検出限界未満
5 キュウリ	福島県	9/15	<0.623	<0.806	検出限界未満
6 トマト	福島県	7/1	<0.811	<0.783	検出限界未満
7 トマト	福島県	9/15	<0.610	<0.830	検出限界未満
8 ナス	神奈川県	8/19	<0.657	<0.871	検出限界未満
9 ニラ	茨城県	8/19	<0.974	<0.728	検出限界未満
10 ピーマン	福島県	9/15	<0.943	<0.913	検出限界未満
11 ブドウ	山形県	9/15	<0.862	<0.733	検出限界未満

## (3) 福祉保健センターからの依頼検査

品目	産地	食品分類	収去部署	買取日	結果(Bq/kg)		
					セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
1 野菜のラタトゥイユ	-	乳児用食品	神奈川区	8/8	<2.58	<2.52	検出限界未満
2 調製粉乳	-	乳児用食品	神奈川区	8/8	<1.49	<1.38	検出限界未満
3 精米	宮城県	一般食品	神奈川区	8/8	<0.695	<0.577	検出限界未満
4 牛乳	岩手県	牛乳	神奈川区	8/8	<0.716	<0.719	検出限界未満
5 牛乳	千葉県	牛乳	神奈川区	8/8	<0.722	<0.8	検出限界未満
6 調製粉乳	-	乳児用食品	南区	8/16	<1.37	<1.51	検出限界未満
7 調製粉乳	-	乳児用食品	南区	8/16	<1.47	<1.49	検出限界未満
8 清酒	宮城県	一般食品	南区	8/16	<0.99	<0.761	検出限界未満
9 牛乳	栃木県	牛乳	南区	8/16	<0.668	<0.808	検出限界未満
10 牛乳	岩手県	牛乳	南区	8/16	<0.757	<0.822	検出限界未満
11 まぐろの炊き込みごはん	-	乳児用食品	西区	9/12	<2.30	<2.25	検出限界未満
12 乳児用清涼飲料水	-	乳児用食品	西区	9/12	<0.749	<0.828	検出限界未満
13 牛乳	福島県	牛乳	西区	9/12	<0.878	<0.718	検出限界未満
14 ぶどうジュース	岩手県	一般食品	西区	9/12	<0.815	<0.704	検出限界未満
15 牛乳	福島県	牛乳	西区	9/12	<0.743	<0.798	検出限界未満

### 3 総水銀検査

平成 28 年 7 月から 9 月までの魚介類の総水銀検査は、5 検体（4 魚種）について実施しましたが、暫定的規制値（0.4ppm）を超えた検体はありませんでした。

#### 検査結果

収去品名	産地	収去日	検査結果(検出限界)(ppm)
1 カツオ	千葉県	7/12	0.12(0.01)
2 ブリ(イナダ)	石川県	7/12	0.03(0.01)
3 マイワシ	北海道	7/12	0.01(0.01)
4 マアジ	京都府	7/12	0.02(0.01)
5 マアジ	島根県	7/12	不検出(0.01)

### 4 貝毒検査

平成 28 年 7 月から 9 月までの貝毒検査は、国産 9 検体、輸入 4 検体、合わせて 13 検体（4 種）について実施しました。下痢性貝毒を機器分析（LC/MS/MS）法、麻痺性貝毒をマウス法により検査し、規制値（下痢性貝毒 0.16mg オカダ酸当量/kg 以下、麻痺性貝毒 4MU/g 以下）を超えた検体はありませんでした。

なお、下痢性貝毒について、従来マウス法による検査を行ってきましたが、平成 28 年 4 月から LC/MS/MS による機器分析法に変わりました。

#### 検査結果

品名	産地	収去日	下痢性貝毒(検出限界) (mg オカダ酸当量/kg)	麻痺性貝毒(検出限界) (MU/g)
1 アサリ	横浜市	7/20	0.02(0.01)	1.75 未満(1.75)
2 アカガイ	韓国	7/21	0.01 未満(0.01)	1.75 未満(1.75)
3 ホタテガイ	岩手県 三陸町海域	7/21	0.01 未満(0.01)	1.75 未満(1.75)
4 ハマグリ	中国	7/21	0.01 未満(0.01)	1.75 未満(1.75)
5 ホタテガイ	宮城県 気仙沼湾	7/21	0.01 未満(0.01)	1.75 未満(1.75)
6 ホタテガイ	岩手県 三陸町海域	8/18	0.01 未満(0.01)	1.75 未満(1.75)
7 ハマグリ	三重県	8/18	0.01 未満(0.01)	1.75 未満(1.75)
8 ホタテガイ	岩手県三陸町海域	8/18	0.01 未満(0.01)	1.75 未満(1.75)
9 アカガイ	中国	8/18	0.01 未満(0.01)	1.75 未満(1.75)
10 アカガイ	中国	9/29	0.01 未満(0.01)	1.75 未満(1.75)
11 ハマグリ	三重県	9/29	0.01 未満(0.01)	1.75 未満(1.75)
12 ホタテガイ	岩手県三陸町海域	9/29	0.01 未満(0.01)	1.75 未満(1.75)
13 ホタテガイ	岩手県釜石湾海域	9/29	0.01 未満(0.01)	1.75 未満(1.75)

## 5 抗菌性物質検査

平成 28 年 7 月から 9 月までの抗菌性物質検査は、うなぎ蒲焼 5 検体、冷凍エビ 6 検体について実施しましたが、抗菌性物質を検出した検体はありませんでした。

### 検査結果

	収去品名	産地	収去日	検査結果
1	うなぎ蒲焼	国産	7/4	不検出
2	うなぎ蒲焼	国産	7/4	不検出
3	うなぎ蒲焼	国産	7/4	不検出
4	うなぎ蒲焼	中国	7/4	不検出
5	うなぎ蒲焼	中国	7/4	不検出
6	冷凍エビ	インドネシア	8/3	不検出
7	冷凍エビ	インドネシア	8/3	不検出
8	冷凍エビ	インドネシア	8/3	不検出
9	冷凍エビ	インドネシア	8/3	不検出
10	冷凍エビ	インド	8/3	不検出
11	冷凍エビ	フィリピン	8/3	不検出

## 残留農薬検査項目

	農薬名		農薬名		農薬名		農薬名		農薬名
1	2-(1-ナフチル)アセタミド	56	キナロホス	111	ジメトン-S-メチル	166	ピリダフェンチオン	221	プロバニル
2	4_CPA	57	キノキソフェン	112	ジメベピラート	167	ピリフェノックス	222	プロバホス
3	BHC	58	キノクラミン	113	シラフルオフェン	168	ピリフタリド	223	プロバルギット
4	DDT	59	キントゼン	114	スピノサド	169	ピリプチカルブ	224	プロビザミド
5	EPN	60	クミルロン	115	スピロキサミン	170	ピリプロキシフェン	225	プロビドロジャスモン
6	MCPB	61	クレソキシムメチル	116	スルフェントラゾン	171	ピリミカーブ	226	プロフェノホス
7	TCMTB	62	クロプリネート	117	ターバシル	172	ピリミノバックメチル	227	プロボキスル
8	XMC	63	クロチアエジジ	118	ダイアジノン	173	ピリミホスメチル	228	プロマシル
9	アイオキシニル	64	クロフェンゾン	119	ダイムロン	174	ピリメタニル	229	プロマトリン
10	アクリナトリン	65	クロブロップ	120	チアクロプリド	175	ピロキロン	230	プロモキシニル
11	アザコナゾール	66	クロマゾン	121	チアベンダゾール	176	ピンクロプリン	231	プロモプロピレート
12	アンフルオルフェン	67	クロマフェノジド	122	チアメキサム	177	フィプロニル	232	プロモホスエチル
13	アジンホスメチル	68	クロブロップ	123	チオベンカルブ	178	フェナミホス	233	プロモホスメチル
14	アセトクロール	69	クロランスラムメチル	124	チオメトン	179	フェナリモル	234	フロラスラム
15	アゾキシストロビン	70	クロリダゾン	125	チフルザミド	180	フェニトロチオン	235	ヘキサコナゾール
16	アトラジン	71	クロリムロンエチル	126	テクナゼン	181	フェノキサニル	236	ヘキサジン
17	アニコホス	72	クロルエトキシホス	127	テトラクロルピリンホス	182	フェノキシカルブ	237	ヘキサフルムロン
18	アマトリン	73	クロルタールジメチル	128	テトラコナゾール	183	フェノチオカルブ	238	ヘキシチアゾクス
19	アラクロー	74	クロルピリホス	129	テトラジホ	184	フェノトリン	239	ペナラキシル
20	アラマイト	75	クロルピリホスメチル	130	テニルクロール	185	フェノブカルブ	240	ペノキサコール
21	イサゾホス	76	クロルフェナビル	131	テブコナゾール	186	フェンアミド	241	ペノキススラム
22	イソキサチオン	77	クロルプロファム	132	テブチウロン	187	フェンクロルホス	242	ペルタン
23	イソキサチオンオキソ	78	クロクサロン	133	テブフェノジド	188	フェントエート	243	ペンシクロ
24	イソフェンホス	79	クロネブ	134	テブフェンピラド	189	フェンブコナゾール	244	ペンシルフロメチル
25	イソプロカルブ	80	クロベンジレート	135	テフルトリン	190	フェンブプロバトリン	245	ペンソフェナップ
26	イソプロチオラン	81	シアナジン	136	デルタメトリン及びトラロメトリン	191	フェンブプロビモルフ	246	ペンダイオカルブ
27	イプロジオン	82	シアノホス	137	テルブトリン	192	フェンヘキサミド	247	ペンディメタリン
28	イプロバリアルブ	83	ジウロン	138	テルブホス	193	フサライド	248	ペンフルラリン
29	イプロベンホス	84	シクラニド	139	トリアレート	194	ブタクロール	249	ペンフレセート
30	イマザリル	85	シクロエート	140	トリクロビル	195	ブタミホス	250	ボスカリド
31	イミダクロプリド	86	ジクロスラム	141	トリシクラゾール	196	ブピリメート	251	ホスマット
32	イメコナゾール	87	シクロルファムロン	142	トリコナゾール	197	ブプロフェジン	252	ホメサフェン
33	インドキサカルブ	88	ジクロトホス	143	トリデモルフ	198	フラザスルフロ	253	ホルクロルフェニユロン
34	エスプロカルブ	89	ジクロフェンチオン	144	トリブホス	199	フラムブロップメチル	254	ホルモチオン
35	エタメツルフロメチル	90	ジクロホップメチル	145	トリファムロン	200	フラメビル	255	ホレート
36	エタルフルラリン	91	ジクロメジン	146	トリフルラリン	201	フルアクリリム	256	マラチオン
37	エチオフェンカルブ	92	ジクロラン	147	トリプロキシストロビン	202	フルキンコナゾール	257	ミクロブタニル
38	エチオン	93	ジクロブロップ	148	トルクロホスメチル	203	フルジオキソニル	258	メカルバム
39	エトキサゾール	94	ジクロロベンゾフェノ	149	ナフタラム	204	フルシラゾール	259	メソスルフロメチル
40	エトキシスルフロ	95	ジスルホトン	150	ナフロアニド	205	フルトラニル	260	メタベンズチアズロン
41	エトフェンブックス	96	シニドエチル	151	ナフロバミド	206	フルトリアホール	261	メタラキシル及びメフェノキサム
42	エトメセート	97	シハロホップチル	152	ニトタールイソプロビル	207	フルバリネート	262	メチダチオン
43	エトプロホス	98	ジフェナミド	153	バクプロトラゾール	208	フルフェナセット	263	メキシクロール
44	エトリムホス	99	シフルフェナミド	154	バラチオン	209	フルフェノクスロン	264	メキシフェノジド
45	エンドスルファン	100	ジフルフェニカン	155	バラチオンメチル	210	フルフェンビルエチル	265	メスラム
46	エンドリン	101	ジフルベンズロン	156	ハロキシホップ	211	フルミオキサジン	266	メトブレン
47	オキサジアゾン	102	シプロジニル	157	ハロスルフロメチル	212	フルミクロラックベンチル	267	メトミノストロビン
48	オキサジキシル	103	シメコナゾール	158	ピコリナフェン	213	フルメツラム	268	メトラクロール
49	オキサジクロメホ	104	ジメタメトリン	159	ピフェノックス	214	フルリドン	269	メビンホス
50	オキシフルオルフェン	105	ジメチペン	160	ピフェントリン	215	プレチラクロール	270	メフェンビルジエチル
51	オリザリン	106	ジメチリモール	161	ピベロホス	216	プロシミド	271	モノクロトホス
52	カズサホス	107	ジメテナミド	162	ピラクロストロビン	217	プロチオホス	272	モノリニユロン
53	カルバリル	108	ジメトエート	163	ピラゾスルフロエチル	218	プロバキザホップ	273	リニユロン
54	カルフェントラゾンエチル	109	ジメトモルフ	164	ピラゾホス	219	プロバクロー	274	リンデン
55	カルプロバミド	110	シメトリン	165	ピラフルフェンエチル	220	プロバジン	275	ルフェスロン

※農作物によって検査項目は異なります。

LCMS/MSによる抗菌性物質検査項目

抗生物質検査項目

	薬品名		薬品名		薬品名
1	テトラサイクリン	2	オキシテトラサイクリン	3	クロルテトラサイクリン

合成抗菌剤、内寄生虫用剤検査項目

	薬品名		薬品名		薬品名
1	クロピドール	20	モランテル	39	スルファメキサゾール
2	クロルスロン	21	マルボフロキサシン	40	スルファメキシピリダジン
3	ダノフロキサシン	22	ナリジクス酸	41	スルファジメトキシ
4	デキサメタゾン	23	ナイカルバジン	42	スルファメキシジアジン
5	ジアベリジン	24	オフロキサシン	43	スルファモノメトキシ
6	ジクラズリル	25	オルビフロキサシン	44	スルファニトラン
7	ジシクラニル	26	オルメトプリム	45	スルファピリジン
8	ジフロキサシン	27	オキシリニック酸	46	スルファキノキサリン
9	エンロフロキサシン *1	28	ピロミド酸	47	スルファチアゾール
10	エリスロマイシン	29	ピランテル	48	スルファトロキサゾール
11	エトバベート	30	ピリメタミン	49	スルフィソゾール
12	ファムフル	31	サラフロキサシン	50	チアベンダゾール *3
13	フェノブカルブ	32	スピラマイシン *2	51	チアンフェニコール
14	フロルフェニコール	33	スルファプロモメタジン	52	チアムリン
15	フルベンダゾール	34	スルファセタミド	53	トリメプリム
16	フルメキン	35	スルファジアジン	54	タイロシン
17	レバミゾール	36	スルファジミジン	55	キシラジン
18	リンコマイシン	37	スルファエトキシピリダジン		
19	メベンダゾール	38	スルファメラジン		

検査項目は検体により異なります

\*1 エンフロキサシン及びその代謝物であるシプロフロキサシンの和

\*2 スピラマイシン I 及びネオスピラマイシン I の和

\*3 畜水産物:チアベンダゾール及び5-ヒドロキシチアベンダゾールの和    その他の食品:チアベンダゾールのみ